

I. 年 表 (1953～2003)

	総会, 大会, 一般事項	会誌, 刊行物, 学会賞等
1953 (昭 28)	農産加工技術研究会として7月発足(東京都江東区農林省食糧研究所内)。本会は農林省農業改良局による農産加工研究連絡会(国立・公立試験研究機関の農産加工部門の試験研究者の会合)に参加している人々を母体として構成された。12月19日, 徳島支部結成(支部長: 久米泰三)。	12月20日, 会誌農産加工技術研究会誌第1巻第1号(創刊号)を発行。第1巻は5号(1954年11月)まで5回発行。
1954 (昭 29)	2月26日, 第1回総会(設立総会)を(株)島津製作所東京支店講堂で開催。同総会において徳島支部を承認。	
1955 (昭 30)	2月25日, 第2回総会を農林省7階大会議室で開催。同総会において長野県支部(支部長: 山崎 茂)を承認。	第2回総会における会計年度の変更に伴い, 1955年は2月から11月までの間に会誌を5号まで発行。
1956 (昭 31)	2月24日, 第3回総会を農林省7階大会議室で開催。同総会において茨城県支部を承認。	
1957 (昭 32)	2月28日, 第4回総会を法務省新館6階会議室で開催。	会費値上げに併行し, 会誌の発行を年6冊(隔月刊)とする。(従来は年4冊)
1958 (昭 33)	2月20日, 第5回総会, 2月20日～21日, 第5回大会を農林省7階大会議室で開催。同総会において和歌山県支部(支部長: 清水祐夫)を承認。	
1959 (昭 34)	4月6日, 第6回総会, 4月6日～7日, 第6回大会を山口ホール(東京都台東区)で開催。同総会において山梨県支部(支部長: 長田秀雄)を承認。	

その他事業	会 費 等	役員、委員等
	<p>発足当初は会員を正会員（個人）特別会員（団体）の2種とした。会費は、年額、正会員が300円、特別会員が1,200円。発足3か月後の10月における会員数は、総数539名、うち特別会員47名。都道府県別では、徳島88名、東京87名、静岡36名、愛知32名、兵庫31名、岡山21名、その他である。会員の所属は、国立関係15%、公立関係32%、大学7%、中学高校17%、民間29%となっている。</p>	<p>発足当初は委員長、地方委員、編集委員、会計委員、監事をもって構成。任期は1年。初代委員長に木原芳次郎氏を選出。発足時の地方委員は45名。</p>
		<p>第1回総会において、委員長のほか、地方委員73名、編集委員12名、庶務委員1名、会計委員1名、監事2名を選出。</p>
	<p>第2回総会において、会計年度を暦年に合せることとした。又、会員人頭割連絡費、特別会員勧誘謝金を設定。</p>	<p>第2回総会において、地方委員を廃止して委員とし、委員のうちから編集委員、庶務委員、会計委員のほか、北海道、東北、関東・東山、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州の9ブロックの代表による運営委員を置く。</p>
	<p>特別会員をA、Bに分ける。会費を年額、正会員500円、特別会員A 2,000円、B 1,200円とする。</p> <p>1956年度末の会員数は、正会員1,271名、特別会員63名。</p>	<p>第4回総会において、委員長、委員、監事を選出。</p>
		<p>第5回総会において、委員長、委員、監事を選出。</p>
		<p>第6回総会において、委員長、委員、監事を選出。</p>

	総会, 大会, 一般事項	会誌, 刊行物, 学会賞等
1960 (昭 35)	4 月 4 日, 第 7 回総会, 4 月 4 日～5 日, 第 7 回大会を日本橋公会堂 (東京都中央区) で開催.	
1961 (昭 36)	4 月 11 日, 第 8 回総会, 4 月 11 日～12 日, 第 8 回大会を日本橋公会堂で開催.	
1962 (昭 37)	3 月 2 日, 第 9 回総会を家の光会館 7 階講堂 (東京都新宿区) で開催. 会名を日本食品工業学会と変更. 会誌発行回数増加などに伴う会則改正及び会名変更を記念して特別講演を行う. 5 月 10 日～11 日, 第 9 回大会を広島市広島平和記念館で開催.	会名変更に伴い併行し, 会誌 日本食品工業学会誌 の発行を年 6 回から毎月発行の年 12 回とする. ただし, 1962 年は, 切り換えのため, 年 9 回発行.
1963 (昭 38)	4 月 4 日, 第 10 回総会, 4 月 3 日～5 日, 第 10 回大会を日本橋公会堂で開催. 5 月 22 日付け 38 特総第 322 号により, 新特許法第 30 条第 1 項の規定による「特許庁長官が指定する学術団体」の指定を受ける.	第 10 回総会において, 本会委員故塩入英次氏のご遺族から寄せられた寄付を基金として学会賞を設け, 次年度から授賞することを決定.
1964 (昭 39)	4 月 15 日, 第 11 回総会, 4 月 14 日～16 日, 第 11 回大会を日本橋公会堂で開催.	第 11 回総会において, 第 1 回の学会賞を授賞. 次年度以降は学会賞授賞規程に基づいて授賞する.
1965 (昭 40)	4 月 14 日, 第 12 回総会, 4 月 13 日～15 日, 第 12 回大会を大田区産業会館 (東京) で開催.	第 12 回総会において, 学会賞授賞内規を定める. (財)糧食研究会, (株)光琳から学会賞副賞の提供.
1966 (昭 41)	4 月 20 日, 第 13 回総会, 4 月 19 日～21 日, 第 13 回大会を科学技術館ホール (東京都千代田区) で開催.	
1967 (昭 42)	4 月 26 日, 第 14 回総会, 4 月 25 日～27 日, 第 14 回大会を科学技術館ホール (東京) で開催.	
1968 (昭 43)	4 月 19 日, 第 15 回総会, 4 月 18 日～20 日, 第 15 回大会を久保講堂 (東京都千代田区) で開催. 10 月 7 日, 理事会において IUFoST-JAPAN (日本国際食品科学・工学連盟) への加入を決定.	

その他事業	会 費 等	役員, 委員等
		第7回総会において, 委員長, 委員, 監事を選出.
		第8回総会において, 会則を改定し, 役員構成を会長 (1名), 副会長 (2名), 委員, 監事, 幹事 (若干名) と改めるとともに, 委員の中に会長指名による常任委員を置く. 会長, 副会長, 委員, 監事及び幹事を選出.
	会員を正会員, 団体会員, 賛助会員とする. 正会員は個人, 団体会員は団体, 賛助会員は経済的援助を行う個人又は団体とする. 会費を年額, 正会員 1,000 円, 団体会員 3,000 円, 賛助会員 10,000 円 (1口) に値上げ.	
		第10回総会において, 会長, 副会長, 委員等を選出.
		第12回総会において, 会則を改定し, 役員構成, 選出方法等を変更. 即ち, 従来の委員制を廃止し, 理事, 評議員制に改めるとともに, 顧問を設けた. 第12回総会において, 会長に櫻井芳人氏, 顧問に前会長木原芳次郎氏を選出.
	会費を年額, 正会員 1,500 円, 団体会員 5,000 円に値上げ, 賛助会員は据置き.	第14回総会において, 会則を改定し, 評議員の任期を従来の2年から4年に改めた.

	総会, 大会, 一般事項	会誌, 刊行物, 学会賞等
1969 (昭 44)	4 月 17 日, 第 16 回総会, 4 月 16 日~18 日, 第 16 回大会を久保講堂 (東京都千代田区) で開催. 同総会において近畿支部 (支部長: 緒方邦安) を承認.	
1970 (昭 45)	4 月 17 日, 第 17 回総会, 4 月 16 日~18 日, 第 17 回大会を久保講堂 (東京都千代田区) で開催.	
1971 (昭 46)	4 月 20 日, 第 18 回総会, 4 月 19 日~21 日, 第 18 回大会を東京商工会議所ホール (東京都千代田区) で開催.	
1972 (昭 47)	4 月 20 日, 第 19 回総会, 4 月 19 日~21 日, 第 19 回大会を大阪府堺市民会館で開催.	
1973 (昭 48)	4 月 12 日, 第 20 回総会, 4 月 11 日~13 日, 第 20 回大会を東京商工会議所ホールで開催. 11 月 15 日 13 時から, 創立 20 周年記念式典, 表彰式, 記念講演会, 祝賀会を農林年金会館ホール (東京都港区) で開催. このほか, 記念事業として 1979 年 10 月発行を予定して, 食品工業総合事典の出版を企画.	第 20 回総会において, 学会賞授賞規程並びに内規の改正を承認. 賞の種類を功績賞及び奨励賞とする.
1974 (昭 49)	4 月 25 日, 第 21 回総会, 4 月 24 日~26 日, 第 21 回大会を東京商工会議所ホールで開催.	
1975 (昭 50)	4 月 24 日, 第 22 回総会, 4 月 23 日~25 日, 第 22 回大会を愛知県中小企業センター講堂 (名古屋市) で開催.	第 22 回総会において, 編集委員会の設置を承認. 編集委員会規程を制定. 4 月 1 日施行.
1976 (昭 51)	6 月 3 日, 第 23 回総会, 6 月 2 日~4 日, 第 23 回大会を東京商工会議所ホールで開催. 12 月 7 日, 常任理事会において日本学術会議への学協会登録申請を決定. 1977 年 4 月 28 日付けにより学術会議議長より登録決定の通知を受ける.	1975 年 12 月の編集委員会決定に基づき, 本年から会誌に速報及び英文論文を掲載.
1977 (昭 52)	5 月 10 日, 第 24 回総会, 5 月 9 日~11 日, 第 24 回大会を東京商工会議所ホールで開催.	
1978 (昭 53)	5 月 31 日, 第 25 回総会, 5 月 30 日~6 月 1 日, 第 25 回大会を東京商工会議所ホールで開催.	会員の意向・意見をアンケートにより調査し, 結果を会誌第 25 巻第 8 号に掲載.

その他事業	会 費 等	役員, 委員等
	会費を年額, 正会員 2,500 円 (海外会員 3,000 円), 団体会員 7,500 円、賛助会員 15,000 円に値上げ.	
	会費を年額, 正会員 4,000 円 (海外会員 5,000 円), 団体会員 10,000 円, 賛助会員 20,000 円 (1 口) に値上げ.	2 月 13 日, 会長櫻井芳人氏が逝去. 副会長渡邊篤二氏が会長事務を代行. 第 21 回総会において, 会長に小原哲二郎氏を選出.
		第 22 回総会において, 会則を改定し, 委員の選出方法を改正.
	会費を年額, 正会員 6,000 円, 団体会員 20,000 円, 賛助会員 50,000 円 (1 口) に値上げ.	
	本年度以降, 一般事業費と大会経費の収支を予算, 決算とも別個に取扱うこととした.	

	総会, 大会, 一般事項	会誌, 刊行物, 学会賞等
1979 (昭 54)	2月1日, 食品総合研究所のつくば移転に伴い, 事務局を茨城県筑波郡谷田部町(現つくば市)の同研究所内に移転。6月5日, 第26回総会, 6月4日~6日, 第26回大会を宮城県民会館(仙台市)で開催。 会則改正により, 第4条を「本会は事務局を茨城県内に置く」と変更。	1978年12月1日の編集委員会決定に基づき, 会誌に「技術報告」欄を新設する旨会誌第26巻第1号に会告を掲載。創立20周年記念事業として, 10月25日, 日本食品工業学会編「食品工業総合事典」を(株)光琳から出版。
1980 (昭 55)	3月29日, 第27回総会, 3月28日~30日, 第27回大会を日本大学農獣医学部(東京都世田谷区)で開催。本大会から, 従来のシンポジウムのほかに, サブシンポジウムを設けた。	10月25日の理事会決定により, 学会賞授賞規程並びに内規を改正し, 従来の功績賞, 奨励賞のほかに技術賞を設ける。
1981 (昭 56)	4月5日, 第28回総会, 4月4日~6日, 第28回大会を九州大学(福岡市)で開催。同総会において九州支部(支部長:大村浩久)を承認。8月, 常任理事会において法人化設立準備実行委員会発足を決定。所轄官庁に折衝を開始。	三菱商事(株)から学会賞副賞の提供。8月, 常任理事会において「食品分析法」の出版を推進することを決定。
1982 (昭 57)	4月6日, 第29回総会, 4月5日~7日, 第29回大会を玉川大学(東京都町田市)で開催。同総会において法人化並びに創立30周年記念事業の実施を承認。九州支部を西日本支部と変更。	10月20日, 本学会食品分析法編集委員会編「食品分析法」を(株)光琳から出版。
1983 (昭 58)	4月5日, 第30回総会, 4月4日~6日, 第30回大会を近畿大学(東大阪市)で開催。11月11日, 東京商工会議所ホールで創立30周年記念式典及び講演会を開催。	11月10日, 「食品工業における科学・技術の進歩(I)」刊行。11月11日, 会員名簿刊行, 会員に配付。11月11日, 創立30周年記念として, 日本食品工業学会年表及び資料(1953~1983)刊行。
1984 (昭 59)	2月14日, 任意団体日本食品工業学会解散総会, 次いで, 社団法人日本食品工業学会設立総会を中小企業診断士会館(東京都中央区)で開催。3月1日法人設立認可。3月29日, 第1回通常総会, 3月28日~30日, 第31回大会を昭和女子大学(東京都世田谷区)で開催。5月11日, 法人設立登記。7月18日, 徳島支部解散。9月2日, 細則, 事務処理規程, 職員規程, 就業規則, 給与規則等を制定。	8月10日, 「食品分析法」改版。9月2日, 投稿規程, 学会賞授賞規程を制定。

その他事業	会 費 等	役員, 委員等
		<p>第26回総会において, 会長に天野慶之氏, 顧問に前会長小原哲二郎氏を選出. 8月, 常任理事会において, 企画担当理事の設置を決定.</p>
		<p>第27回総会において, 評議員の定数を正会員の互選によるもの100名以上150名以内, 会長推薦によるもの15名以上50名以内と改正.</p>
	<p>会則改正により, 名誉会員, 終身会員, 学生会員を新設.</p>	
	<p>法人化に伴い, 任意団体の最終年度を2月末まで延長. 定款の定めにより, 会員の種別は通常会員、賛助会員(団体, 維持, 海外, 学生の各会員)及び名誉会員となる.</p> <p>会費の額を, 年額, 通常会員6,000円, 団体会員20,000円, 維持会員(1口)50,000円, 海外会員7,000円, 学生会員4,000円とした.</p>	<p>法人の定款により, 理事(15~20名), 監事(1名又は2名), 評議員(50~70名)の定数が定められた. 法人の初代会長に小原哲二郎氏が就任. 3月13日, 顧問に木原芳次郎氏を委嘱. 第1回通常総会において, 理事17名, 監事1名を選任. 評議員67名を委嘱. 4月2日, 事務局長に田中豊三郎氏を委嘱. 6月11日, 顧問に天野慶之氏, 藤巻正生氏, 満田久輝氏を委嘱. 参与に稲神馨氏を委嘱. 9月2日, 総務, 企画, 編集各常任委員会の委員を委嘱.</p>

	総会, 大会, 一般事項	会誌, 刊行物, 学会賞等
1985 (昭 60)	3月29日, 第2回通常総会, 3月28日~30日, 第32回大会を名城大学(名古屋市)で開催. 通常総会において会計処理規程を制定. 10月4日, 労働保険の適用事業所となる.	会誌の販売価格を5割引き上げ, 1冊1,500円とする. 第32巻第1号から会誌の英文名を一部改定. 4月8日, 会誌の商標権を木原芳次郎氏から譲受. 8月30日, 学会賞授賞規程の改定により, 功労賞を新設.
1986 (昭 61)	4月18日, 第3回通常総会, 4月18日~20日, 第33回大会を共立女子大学(東京都千代田区)で開催. 7月14日, 社会保険の適用事業所となる.	3月20日, (財)飯島食品科学振興財団から学会賞副賞の提供. 功績賞を研究功績賞, 奨励賞を研究奨励賞と改称. 第3通常総会の承認を得て, 木原芳次郎氏に功労賞を授与. 11月25日, 「食品工業における科学・技術の進歩(Ⅱ)」刊行.
1987 (昭 62)	3月27日, 第4回通常総会, 3月27日~29日, 第34回大会を富山県民会館(富山市)で開催. 8月29日, 近畿支部の名称を関西支部と変更. 11月30日つくば市の発足に伴い, 定款第2条の事務所の所在地を「新治郡桜村」から「つくば市」に改めることとし, 12月10日付けで農林水産大臣あて定款変更の認可申請提出.	6月19日, 学会賞授賞規程内規を制定.
1988 (昭 63)	1月18日, 定款改定認可. 3月25日, 第5回通常総会, 3月25日~27日, 第35回大会を女子栄養大学駒込校舎(東京都豊島区)で開催.	第5回通常総会の承認を得て, 小原哲二郎氏に功労賞を授与. 会員名簿刊行(会誌第35巻第8号に綴じ込み), 11月30日, 「食品工業における科学・技術の進歩(Ⅲ)」刊行.
1989 (平元)	4月14日, 第6回通常総会を学士会館(東京都千代田区)で開催. 5月25日~27日, 第36回大会を宮城県民会館(仙台市)で開催.	3月27日, 従来の学会賞授賞規程及び同内規を大幅に改定し, 新たに「社団法人日本食品工業学会授賞規程」及び「同内規」を制定. これまでの功績賞は学会賞と改称.
1990 (平2)	3月27日, 第7回通常総会, 3月27日~29日, 第37回大会を大妻女子大学(東京都千代田区)で開催.	第7回通常総会の承認を得て, 石田 朗氏, 北尾次郎氏に功労賞を授与. 12月25日, 「食品工業における科学・技術の進歩(Ⅳ)」刊行.

その他事業	会 費 等	役員, 委員等
11月21日～22日, ワークショップ食品工業における非破壊計測法(東京都・エーザイホール). (財)食品産業センターの食品産業技術情報活動事業に参加.		第2回通常総会において, 監事1名を追加選任.
11月21日, 食品工業における近赤外分光法に関するシンポジウム(東京都・エーザイホール).		第3回通常総会において, 役員及び評議員を改選. 理事16名, 監事2名を選任. 評議員70名を委嘱. 会長に天野慶之氏を選出. 顧問に小原哲二郎氏を委嘱.
8月3日～7日, '87食品テクノフォーラム(つくば市・スワホテル)食品産業技術構造動態調査事業受託(農林水産省). 11月25日, 第3回非破壊計測シンポジウム(東京都エーザイホール).	会費を年額, 通常会員9,000円, 団体会員30,000円, 海外会員10,000円, 学生会員5,000円に値上げ. 維持会員(1口)50,000円は据置き.	8月29日, 常任委員改選.
食品産業技術構造動態調査事業受託(農林水産省). 8月1日～5日'88食品テクノフォーラム(つくば市・スカイホテル). 11月24日, 第4回非破壊計測シンポジウム(東京都・エーザイホール).		第5回通常総会において, 役員及び評議員を改選. 理事20名, 監事2名を選任. 評議員70名を委嘱. 会長に天野慶之氏を重任.
5月29日～6月2日, 第2回国際近赤外分光分析会議(つくば市). 8月7日～11日, '89食品テクノフォーラム(つくば市・スカイホテル). 食品産業技術構造動態調査事業受託(農林水産省).		
2月7日, 第5回非破壊計測シンポジウム(東京都・エーザイホール). 9月3日～7日, '90食品テクノフォーラム(つくば市・スカイホテル). 食品産業技術構造動態調査事業受託(農林水産省). 12月4日～5日, 第6回非破壊計測シンポジウム(東京都・エーザイホール).		第7回通常総会において, 役員及び評議員を改選. 理事18名, 監事2名を選任. 評議員70名を委嘱. 会長に三浦 洋氏を選出. 3月1日, 常任委員改選. 6月7日, 顧問に天野慶之氏, 渡邊篤二氏を委嘱. 参与に北尾次郎氏を委嘱.

	総会, 大会, 一般事項	会誌, 刊行物, 学会賞等
1991 (平3)	3月22日, 第8回通常総会, 3月22日~24日, 第38回大会を広島国際会議場(広島市)で開催.	第8回通常総会の承認を得て, 天野慶之氏, 今井 寛氏に功労賞を授与. 会員名簿刊行(会誌第38巻第7号に綴じ込み).
1992 (平4)	3月27日, 第9回通常総会, 3月27日~29日, 第39回大会を日本大学農獣医学部東京校舎(東京都世田谷区)で開催. 3月29日, 関東支部設立(支部長: 露木英男)	第39巻第1号から会誌の販売価格を値上げし, 1冊1,650円とする. 第9回通常総会の承認を得て, 柴崎一雄氏に功労賞を授与. 6月10日, アメリカとの間でFAXによる英文論文の校閲を開始. 11月30日, 「食品工業における科学・技術の進歩(V)」刊行.
1993 (平5)	3月26日, 第10回通常総会, 3月26日~28日, 第40回大会を甲子園都ホテル及び武庫川女子大学(兵庫県西宮市)で開催. 9月18日, 東北支部設立総会, 10月27日, 中部支部設立総会.	1月, 創立40周年記念として, 日本食品工業学会年表及び資料(1953~1993)(会誌40巻1号の別冊付録)刊行. 第10回通常総会の承認を得て, 三浦 洋氏に功労賞を授与. 4月20日, 日本食品科学工学会編「新版・食品工業総合事典」を(株)光琳から出版.
1994 (平6)	1月19日, 北海道支部設立総会, 3月28日, 第11回通常総会, 3月28日~30日, 第41回大会を東京農業大学(東京都世田谷区)で開催. 6月9日, 会名を社団法人日本食品科学工学会と変更. これに伴い, 定款, 細則, 会計処理規程等を一部改定.	三菱商事(株)からの学会賞副賞の提供終わる.
1995 (平7)	3月28日, 第12回通常総会, 3月28日~30日, 第42回大会を愛知県産業貿易館及び名城大学(名古屋市)で開催.	第42巻第1号から, 会誌名を 日本食品科学工学会誌 と変更. 2月20日, 「食品工業における科学・技術の進歩(VI)」刊行. 第12回通常総会の承認を得て, 藤巻正生氏, 渡邊篤二氏に功労賞を授与. 11月, 英文論文誌 Food Science and Technology, International (季刊)を創刊. 会員名簿刊行(会誌第42巻第5号に綴じ込み).
1996 (平8)	3月27日, 第13回通常総会, 3月27日~29日, 第43回大会を仙台国際センター及び東北大学川内(仙台市)で開催.	第13回通常総会の承認を得て, 木村 進氏, 佐藤 泰氏, (故)土井悦四郎氏に功労賞を授与. 11月20日, 「新・食品分析法」を刊行.

その他事業	会 費 等	役員, 委員等
9月2日~6日, '91食品テクノフォーラム(つくば市・ホテルグランド東雲). 食品産業技術構造動態調査事業受託(農林水産省). 10月28日, 第7回非破壊計測シンポジウム(東京都・総評会館).		
食品産業技術構造動態調査事業受託(農林水産省). 9月7日~11日 '92食品テクノフォーラム(つくば市・ホテルグランド東雲). 12月7日, 第8回非破壊計測シンポジウム(東京都・総評会館).		第9回通常総会において, 役員及び評議員を改選. 理事20名, 監事2名を選任. 評議員70名を委嘱. 会長に木村 進氏を選出. 3月1日及び9日, 常任委員改選. 7月1日, 顧問に三浦 洋氏を委嘱.
食品産業技術構造動態調査事業受託(農林水産省). 11月29日~30日, 第9回非破壊計測シンポジウム(豊中市・千里ライフサイエンスセンター).		
食品産業技術構造動態調査事業受託(農林水産省). 11月16日~18日, 第10回非破壊計測シンポジウム(つくば市・研究交流センター).		第11回通常総会において, 役員及び評議員を改選. 理事20名, 監事2名を選任. 評議員70名を委嘱. 会長に土井悦四郎氏を選出. 常任委員改選. 11月9日, 顧問に木村 進氏を委嘱.
食品産業技術構造動態調査事業受託(農林水産省). 11月20日~22日, 第11回非破壊計測シンポジウム(つくば市・研究交流センター).		6月1日, 事務局長に青木章平氏を委嘱.
食品産業技術構造動態調査事業受託(農林水産省). 食品容器包装リサイクル技術開発事業受託(農林水産省). 6月10日, この事業推進のため, 東京都中央区日本橋小伝馬町17-17峰澤ビル4Fに事務局分室を開設. 11月20日~22日, 第12回非破壊計測シンポジウム(つくば市・研究交流センター).		第13回通常総会において, 役員及び評議員を改選. 理事19名, 監事2名を選任. 評議員70名を委嘱. 会長に露木英男氏を選出. 4月1日, 常任委員改選.

	総会, 大会, 一般事項	会誌, 刊行物, 学会賞等
1997 (平9)	3月27日, 第14回通常総会, 3月27日～29日, 第44回大会を女子栄養大学(埼玉県坂戸市)で開催。11月7日, 総務, 企画, 編集, 英文誌編集, 授賞選考各委員会規程制定。	1月, 英文論文誌名を Food Science and Technology International, Tokyo と改称。 1月20日, 「食品工業における科学・技術の進歩(VII)」刊行。 第14回通常総会の承認を得て, 海老根英雄氏に功労賞を授与。日清食品(株)開発研究所から学会賞副賞の提供。1月, 会誌の論文種別のうち, 技術報告を技術論文と変更。
1998 (平10)	3月18日, 第15回通常総会, 7月31日～8月2日第45回大会を北海道大学(札幌市)で開催。10月17日, 第16回臨時総会を南青山会館(東京都港区)で開催。	第15回通常総会の承認を得て, 金田尚志氏, 並木満夫氏に功労賞を授与。10月17日, 授賞規程, 同内規一部改定。
1999 (平11)	1月1日, 細則一部改定。3月19日, 第17回通常総会を南青山会館(東京都港区)で開催。9月6日～8日, 第46回大会を九州産業大学(福岡市)で開催。	第46巻第1号から会誌の販売価格を値上げし, 1冊2,000円(税別)とする。1月1日, 投稿規程, 投稿論文記載要領(和文誌), 投稿要領(英文誌)一部改定。1月, 英文論文誌名を Food Science and Technology Research と改称し, 発行権を(財)日本学会事務センターに委譲。3月, 会員名簿(1999年版)刊行(会誌第46巻第3号別冊付録)。第17回通常総会の承認を得て, 大村浩久氏, 松下雪郎氏に功労賞を授与。11月15日, 「食品工業における科学・技術の進歩(VIII)」刊行。
2000 (平12)	3月1日, 事務処理規程, 職員規程等一部改定。監査規程制定。3月28日, 第18回通常総会, 3月28日～30日, 第47回大会を大妻女子大学(東京都千代田区)で開催。	
2001 (平13)	3月23日, 第19回通常総会を南青山会館(東京都港区)で開催。9月11日～13日, 第48回大会を香川大学教育学部(高松市)で開催。 10月24日交流委員会発足。	第19回通常総会の承認を得て, 露木英男氏に功労賞を授与。
2002 (平14)	1月29日, 交流委員会規程制定。3月28日, 第20回通常総会を南青山会館(東京都港区)で開催。6月24日, 役員給与規程, 役員退職手当規程制定。6月28日, 第1回春季研究・交流事業講演会開催。 8月29日～31日, 第49回大会を名城大学(名古屋市)で開催。	2月28日, 「食品工業における科学・技術の進歩(IX)」刊行。

その他事業	会 費 等	役員、委員等
食品容器包装リサイクル技術開発事業受託（農林水産省）。11月10日～12日，第13回非破壊計測シンポジウム（つくば市・研究交流センター）。		
食品容器包装リサイクル技術開発事業受託（農林水産省）。10月28日～30日，第14回非破壊計測シンポジウム（つくば市・研究交流センター）。		第15回通常総会において，役員及び評議員を改選。理事20名，監事2名を選任。評議員70名を委嘱。会長に露木英男氏を重任。4月1日，常任委員改選。
食品容器包装リサイクル高度化技術開発事業受託（農林水産省）。11月9日～11日，第15回非破壊計測シンポジウム（京都市・京都リサーチパーク）。	会費を年額，通常会員11,000円，団体会員35,000円，維持会員（1口）55,000円，海外会員13,000円，学生会員6,000円に値上げ。理研ビタミン(株)，ヤマザキ・ナビスコ(株)からの寄付金を活動強化基金としてそれぞれ積立て。創立50周年記念事業のための積立開始。	4月1日，事務局長に久保直哉氏を委嘱。
食品容器包装リサイクル高度化技術開発事業受託（農林水産省）。10月15日～20日，第3回国際大豆加工利用会議（つくば市・国際会議場）。11月8日～10日，第16回非破壊計測シンポジウム（つくば市・研究交流センター）。	日清食品(株)からの寄付金を活動強化基金として積立て。	第18回通常総会において，役員及び評議員を改選。理事20名，監事2名を選任。評議員70名を委嘱。会長に箆島 豊氏を選出。4月1日，常任委員改選。7月1日，顧問に露木英男氏を委嘱。
食品容器包装リサイクル高度化技術開発事業受託（農林水産省）。11月14日～16日第17回非破壊計測シンポジウム（つくば市・研究交流センター）。		10月30日，参与に曾根博氏を委嘱。
食品リサイクル促進技術開発事業受託（農林水産省）。11月13日～15日，第18回非破壊計測シンポジウム（つくば市・研究交流センター）		第20回，通常総会において，役員及び評議員を改選。理事20名，監事2名を選任。評議員69名を委嘱。会長に箆島 豊氏を選出。4月1日，常任委員改選。

	総会, 大会, 一般事項	会誌, 刊行物, 学会賞等
2003 (平 15)	3 月 27 日, 第 21 回通常総会を南青山会館 (東京都港区) で開催.	

その他事業	会 費 等	役員, 委員等
		4月1日, 事務局長に金子勝芳氏を委嘱.